

広瀬社協だより

発行責任者	広瀬地区社会福祉協議会		
	会長	今村	雅治
編集者	事務局	法貴	美子
	TEL	232-8289	
印刷	プリントパック		

「ひろしま LMO (エルモ)」を検討

広瀬地区社協会長 今村 雅治

昨年も地域のためにご協力ありがとうございました。能登半島地震被災報道を見て、日頃からの地域のつながりの大切さを感じる年明けとなりました。より良い地域を目指す住民同士のつながりは“地域コミュニティ”として福祉や防災、環境美化などの推進に欠かせない役割を担っています。この“地域コミュニティ”が更に活性化

して持続可能なものとなるよう広島市は令和4年2月「広島地域コミュニティ活性化ビジョン」を策定。「ひろしま LMO」を進めていますので、広瀬地区も検討したいと考えています。広瀬の皆さまのご協力をお願いします。

「ひろしま LMO」とは 市民主体のまちづくりを地域の関係者（地区社会福祉協議会、町内会、各種団体、企業、住民有志など）が連携して、楽しさややりがいを感じながら、様々な活動に取り組む“地域協力体制”であると市が認めた組織。

広瀬地区敬老祝賀会

城戸姪子さん（西十日市）による
祝いの舞から始まりました



10月22日、令和5年度の広瀬地区敬老祝賀会が



広瀬小学校体育館で行われました。

広瀬地区には70歳以上の敬老会員370人中、白寿（99歳）2名、卒寿（90歳）8名がおられます。85名のご出席者にご長寿表彰をお祝いし、広瀬小3年児童のリコーダー演奏と歌、ピアニスト新宅雅和氏と音楽教諭坂本治希先生のピアノ連弾や大正琴演奏を楽しみました。十日市交番片山署長によるわかりやすい「安全講座」も参考にしながら、これからもお元気でお過ごしください!!



ボランティアグループ「あっとほーむレイディーズ」10人による大正琴演奏と一緒に 知床旅情、銭形平次、ダイアナ、それ行けカーブなどを歌いました

広瀬学区原爆死没者慰霊祭

令和2年度からの新型コロナウイルス感染脅威も落ち着き、広瀬社協としては控えてきた行事を再開して住民のふれあい・地域の活性を取り戻したいと、4年ぶりに盆踊りも開催することにしました。

8月3日(木)午前9時30分から原爆死没者慰霊式典。この3年間の座席間隔1メートルを10センチに戻して、来賓の市長代理や数名の議員、近隣の社協関係者にも参列していただきました。

広瀬小学校児童は6年生が慰霊式典に参列して献花。1~5年生は教室のTVモニターで式典の様子を見たのち、4,5年生が慰霊碑前に平和を祈念して白菊を献花しました。



式典に参列した地域役員が献花



参列した6年生児童が次々献花



広瀬の「通いの場」のご案内

広瀬地区の「通いの場」＝「出かけて集う場所」には広瀬集会所や広瀬神社社務所などで「ひろせ健康サロン」「百歳体操」「広瀬の杜カフェ」、広瀬北町公園や小学校などで「グラウンドゴルフ」、サンスポーツ卓球場で「ラージボール卓球サロン」などがあります。

新型コロナの脅威も薄らいできましたので、家に閉じこもらないで、出かけるきっかけにしてください。お出かけモードになって、人と言葉を交わすと、脳が活性化して認知症になりにくいそうです。高齢者いきいき活動ポイント手帳を持ってお出掛けください。

1ポイント100円還元されます。(1年間1万円まで)

マスクは場所と人混み具合を見て着用するようにしましょう。



4年ぶりの盆踊り



事前購入した金券を使っのセブン屋台ではジュース、フライドポテト、からあげ棒などが準備数以上売れ、追加搬入してもらったことでした

小さい子どもにとっては初めての盆踊り。家族で夏の行事を楽しめたことでしょう

8月3日夕刻からの盆踊りは久しぶりの開催。賑わいを誘うために企画したセブン屋台ではジュース、アメリカンドッグ、ポテトなどを買う人の列が絶えませんでした。

猛暑の夏で熱中症が心配されましたが幸運にも夕方から心地よい風が吹いて、思いのほか過ごしやすい夜でした。景品を豪華にした「くじ引」の参加者は以前と同じく400人を超え、夏の行事を楽しんでいただけたようでした。

ご参加の皆様、お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。

ひろせ健康サロン（広瀬集会所）

月1～2回水曜日 10時～ボランティアひろせ



弦楽四重奏団の演奏をりらくす保育園児と一緒に楽しめたクリスマス演奏会でした。

ひろせ健康サロンは おおむね70歳以上の高齢者を対象として脳トレ、室内ゲーム、音楽療法、防災講座、認知症講座、映像鑑賞会などの集会所を幟町地域包括支援センターと相談しながらスケジュール作りをしています。

参加費は無料。予約も不要です。気軽なお出かけ集会所として楽しんでください。

広瀬の杜カフェ（広瀬神社社務所）

毎月第2木曜日 14時～十日市地区民生委員
参加費（会場使用料）100円



6月8日「歌声カフェ」ギターバンド演奏で懐かしの歌を歌いました。脳トレ体操、美術鑑賞講座などで人との交流をしましょう。

公衆衛生推進協議会 健康サロン （広瀬集会所）

年1回不定期 広瀬地区
公衆衛生推進協議会
今年度は8月、「熱中症
対策とオーボエ演奏会」
を開き、体と心の健康講座
となりました。



広瀬社協

あなたとつくる、みんなでつくる、ささえあいのまち

令和5年度 予算

予算期間(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

広瀬地区社会福祉協議会

収入の部		支出の部	
費目	予算案	費目	予算案
町内会分担金(一世帯700円)	982	まちづくり推進事業費	580,000
寺町	98	中広中学校福祉教育推進	40,000
広瀬北町1区	75	ひろせ三世代ふれあいまつり	200,000
広瀬北町2区	45	敬老会	200,000
広瀬北町3区	72	広報誌発行	30,000
広瀬町東	136	まるごと元気 花いっぱい運動	10,000
広瀬町西	73	グラウンドゴルフ大会	100,000
西十日市町1・2区	103	各種団体助成金	110,000
西十日市町3区	80	広瀬学区体育協会	0
助成金等	380,000	ボランティアひろせ	35,000
広島市補助金	60,000	青少年健全育成連絡協議会	0
市社協基金	40,000	防犯組合連合会	50,000
共同募金配分金	40,000	自主防災会連合会	25,000
福祉のまちづくり推進事業助成金	150,000	テニスボール卓球サロン	0
広報アール 弘実施助成金	50,000	運営費	1,046,000
賛助会員還元助成金	40,000	会議費	80,000
事業運営収入	150,691	市社協負担金	40,000
敬老会	20,000	研修費	20,000
三世代ふれあいまつり寄付・売上	100,000	交通費	20,000
源学区ふれあいグラウンドゴルフ大会残金	30,691	慶弔費	20,000
雑収入	25,010	事務費	30,000
日赤募金奉仕活動費	5,000	執行部役員活動費	100,000
預金利息	10	人材育成費(6千円/月×3人)	216,000
印刷収入(チラシ等)	20,000	雑費	20,000
		予備費	500,000
収入合計	1,033,101	支出合計	1,736,000
前年度から繰越金	2,230,055	次年度へ繰越金	1,527,156
収入の部合計	3,263,156	支出の部合計	3,263,156

役職	氏名	町内会	所属団体役職名	参考
顧問	菅戸 雅子	広瀬町	広瀬小学校 校長	新任
顧問	内海 滋子	広瀬町	広瀬児童館 館長	
顧問	寺田 稔	寺町	元広瀬地区社会福祉協議会 会長	
顧問	大田 金次	広瀬町西	前広瀬地区社会福祉協議会 会長	
会長*	今村 雅治	広瀬町東	広瀬地区社会福祉協議会 会長 広瀬学区原爆死没者慰霊委員会 会長	*
副会長*				
会計*	大西 和恵	広瀬西		新任*
監事	山本 静	広瀬東	広瀬町西町内会 世話役	新任
監事	竹内 芳恵	西十日市1,2区	広瀬地区民生委員 西十日市町担当	新任
常任理事 福祉推進委員	中元 清昭	寺町	広瀬地区福祉推進委員 寺町町内会 会長	
常任理事	飛弾 陸司	広瀬北町1区	広瀬北町1区町内会 会長	
常任理事		広瀬北町2区		
常任理事	金崎 憲治	広瀬北町3区	広瀬北町3区町内会 会長	
常任理事	清木 陸司	広瀬町東	広瀬町東町内会 会長	
常任理事	杉本 かつ枝	広瀬町西	広瀬町西町内会 会長	
常任理事	小宇羅 絢子	西十日市1,2区	西十日市1,2区町内会 会長 広瀬地区防犯組合連合会 会長	新任
常任理事	塩津 永喜	西十日市町3区	西十日市3区町内会 会長	
理事	相 正信	寺町	広瀬地区自主防災会連合会 会長	
理事	中田 健二	広瀬北町3区	広瀬学区体育協会 会長	新任
理事	松村 宏	広瀬町西	広瀬地区公衆衛生推進協議会 会長 広瀬地区青少年健全育成協議会 会長	新任
理事	倉迫 貴一	広瀬北町2区	広瀬学区子ども会育成協議会 会長	
理事	猪原 慶成	寺町	広瀬小学校PTA 会長	新任
理事	野地 順子	寺町	広瀬地区民生委員 代表	
理事*	法貴 美子	西十日市町3区	ボランティアひろせ 会長 広瀬地区社協 事務局長 / 広報委員長	*

* 個人情報ですから他へのコピー等は厳禁。 ※赤字は新役員/新役職 【*】事務局

令和5年度広瀬社協総会報告

広瀬地区社会福祉協議会総会が5月28日(日)広瀬小学校体育館で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大の懸念で中止していた行事の再開を目指して、8月慰霊祭の盆踊り、10月敬老会の児童演技参加の復活など、ふれあい行事を企画する今年度の広瀬社協予算が決まりました。(上記の表を参照)

役員人事について、昨年度末で消滅しかけた「青少年協」の会長役を松村社協副会長(総会当時)が引き受けることになりました。会計、監事の役職が総会の時点では決まっていませんでしたが、7月の理事会で3人が承認されて決まりました。

今後の社協や町内会を担ってくれる若い人がどんどん役を引き受けて今の暮らしに合った活動を考えていただきたいです。

「広瀬絆の会」登録のお勧め

令和元年から広瀬地区で始まり、登録者が少しずつ増えている「広瀬絆の会」。住み慣れた地域で長く暮らすために、地域で高齢者を見守り、ともに支え合うことを目指します。

- 同居者が留守がちな方も登録できます。
- 包括支援センターに相談して必要な介護保険申請などの手続きを進められます。

幟町地域包括支援センターと「声掛けさん」(近隣住民)、民生委員が協力して支えます。
問合せ電話：082-222-6608

令和6(2024)年 主な社協関係行事予定

- 2月 4日(日) 体協「モルック体験会」
- 2月 7日(水) 健康サロン「音楽療法」
- 2月 8日(木) 杜カフェ「美術館出張講座」
- 2月 21日(水) 健康サロン「薬の話」
- 3月 6日(水) 健康サロン「きみまるビデオ」他

「編集後記」災害はいつ起きるかわかりません。防災グッズ・備蓄品の点検や準備、避難経路の確認など家族と話し合っておきましょう。(自助)
平素から近所の人とあいさつなど声を掛け合っていると仲間意識も生まれます。(共助)
「もしもの時」に備えて防災・減災準備を!!